資　料　２

第２回専門部会（まちづくり・防災）

第２回専門部会（まちづくり・防災）議題

１　第２回審議会に向けた流れ

２　第１回会議の振り返り等

（１）第１回会議の追加意見について

（２）第１回会議の振り返り

（３）追加データ

①人口関連

②転出理由

３　アンケート結果等の区民意見の報告（速報）

４　分野別の目指すべき姿の取りまとめ

２　第１回会議の振り返り等

（１）　第１回会議の追加意見について

（１）第１回会議の追加意見について

●松山委員　追加意見



防災

●防災におけるDXの取り組みの重要性について

- 防災は準公共分野と呼ばれる医療や教育などの他分野と異なり、明確な所管官庁が不在ということもあり、かなりDXに関する取り組みが国としても遅れている状況である。
- そのような背景の中、現在内閣府防災とデジタル庁が連携して「防災DX官民連携共創協議会」という官民連携・省庁横断での取り組みを本格化しているところである。
- 当該協議会でも主導的な役割を担っている日本防災プラットフォームでは防災DX3原則として、「多様性前提の原則」、「最適情報共有の原則」、「弱者二段構えの原則」を掲げており、まさに多様な区民の方の状況（身体的ハンデ、アレルギー等の健康状況などなど）に合わせて、一律的な情報提供ではなく個別最適な情報を提供し、災害弱者の方のみならずその支援者の方も含めたきめ細やかなサポートを行うために、様々な情報を連携していくことの必要性がうたわれている。
- これまで防災領域においては、ハード的な対策に重きが置かれており、テクノロジーはどちらかというと罹災証明等の業務効率化領域での活用が中心だったものから、位置情報を活用した最適な捜索や、個々人の状況に合わせたマイタイムライン情報の提供、避難者情報を基にした最適な支援など、人々の命を守るためにテクノロジーを活用することに重きが置かれてきているので、「誰一人取り残さない防災対策」としてのDX活用は重要施策の一つではないかと考える。

（１）第１回会議の追加意見について

●秋成委員　追加意見

人口

●子育て世代に向けた環境づくりについて

- 子育て世代が、安心して子どもを産み、育て、学ぶことができる環境を作っていくことが、すべての基礎となるところに求められると感じる。
- そのうえで該当する世帯の区外転出を食い止める個別の施策が必要だと思う。安心して暮らせる環境という点では、街路灯の設置間隔の基準の見直しのことを述べたが、現在でも様々な努力を積み重ねていただいている駅前の環境浄化事業や、駅周辺の客引き・客待ちの一掃が求められると感じる。

地域力

●自治会町会の活動について

- 各町会で班長の引き受け手が減少するなかでも、自治会町会が担って頂いている美化活動、防火活動、防犯活動をはじめ、民生委員の皆さんの活動、子どもたちを対象とした親御さんやＰＴＡの皆さんを巻き込んだ活動は、災害時などの有事で互いの生命を守るべく共助の活動へと着実に繋がっていくと感じる。
- 行政が施策を推進するなかで、良い事例や先進事例を効果的にＰＲすることが自治会町会活動の共感の輪を広げ、担い手として手を挙げる方が増加していくような流れを私たち議会も一緒になって作っていかなければならないと考える。

２　第１回会議の振り返り等

（２）第１回会議の振り返り

（２）第１回会議の振り返り

分野	進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見
防災	• 水害の際に、避難対象地域にもかかわらず避難しない人もいる。このあたりの意識を高める施策も重要。 • 現在、18か所の特別出張所において学校防災拠点の活動を行っているが、これをもっと広く考えて、広域防災として各地域の強みを活かした協力体制を作ることが今後重要ではないか。 • 倉庫が一番多い大田区として、民間と連携し災害時には倉庫の荷物を被災者に提供できるような仕組みを考えるなど、公民で連携すれば様々なことができるのではないか。 • 閉じ込めに繋がり得るエレベーターが増えているという課題もあるが、他自治体では共助のための訓練に予算を付けようとしているところもある。そういった先進事例に関する研究を重ねていくことも重要。 • 首都直下地震が発生したあとのまちづくりをどうするのかという視点を基本構想へ盛り込んでもよいのではないか。 • 防災におけるDXの取組みが重要である。現在国においては、位置情報を活用した最適な被災者の捜索や、個々人の状況に合わせたマイタイムライン情報の提供、避難者情報を基にした最適な支援など、人々の命を守るためにテクノロジーを活用することに重きが置かれてきているので、「誰一人取り残さない防災対策」としてのDX活用は重要施策の一つではないか。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

治安



- データ上犯罪は少なくなってきているが、アンケートによると治安に関する項目の評価は低く、安全ではあるが安心ではない。いわゆる体感治安を向上させるには自治会の加入など、地域住民間での交流を増やす必要があるのではないか。
- 公園に防犯カメラを設置することは防犯上有用である。一方で、プライバシーや設置後の管理などの問題もあるため、プライオリティーが何かという視点での検討も重要。
- 防犯活動は地域の一番基本的な部分であり、身近な犯罪を一番最初に発見できるのは地域である。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

公園・緑地



- 大田区の強みを生かしながら、民間の活力を導入した公園づくりを進めてもいいのではないか。おしゃれなカフェなどがあれば区民が公園に親しみを持つ機会が増え、緑に親しむ機会も増える。
- ふるさとの浜辺公園のように、都内で砂浜がある公園を有していることは区の強み。
- 公園はあるだけでは意味がなく、もっと活力とにぎわいがあるものにしていく必要がある。
- 公園の総面積だけでなく、利用者、利用率、徒歩15分という生活圏に存在するか等も加味して、大田区が本当に暮らしやすいまちかを検討していくことも重要。
- 公園の実際の利用率などもデジタルを活用して正確に把握できるのではないか。
- 公園をよりよく使用してもらうには一定程度の投資も必要であり、公園の規模等によっては稼ぐ公園を検討する必要性もあるのではないか。
- 緑被率が下がっており、区民農園も５か所から３か所に減ってしまった。区民が緑等に関わることができるものを増やしていくことが重要。

（２）第１回会議の振り返り

分野

進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見

地域力



- 自治会加入率が70%を切っていることは憂慮すべき。特にコロナ禍で交流が減り、地域活動が寸断されてしまった。そのためデジタルを活用するなどして自治会に加入していない人にも地域の情報を発信することを模索してはどうか。
- 地域団体の支援を行政が積極的に行うことで、治安や地域力を高めることにつながるのではないか。
- 自治会活動や防災活動などの体験や経験を子どもたちへ今後どのように繋げていくのかが重要となってくるのではないか。
- スマートシティの施策は住民一人ひとりの生活に対して都市を合わせていくことであり、テクノロジーを用いて色んな世代が地域に参加できるようにしたり、自分たちで自分たちのまちを良くする、そういう地域風土のようなものは根底のテーマの一つとして持ってもよいのではないか。
- 人口のデータからは、単身者には住みやすいがファミリー層には選ばれないことがうかがえる。このことは、町会に協力してくれる人が中々増えないことにもつながる。
- 行政が施策を推進するなかで、良い事例や先進事例をPRすることにより、自治会町会活動の共感の輪を広げ、担い手として手を挙げる方が増加する流れを作る必要があるのではないか。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

交通



- 大田区内で人口が減っている地域ではバスが減便されており、より不便になっている。そのような交通不便地域に対しては、ライドシェアの実証実験での改善点などを取り入れてうまく適応していくのがよいのではないか。
- 東西交通の分断は重要な課題。新空港線だけでなく、地域と地域をつなぐための様々な課題を集約した上でのまちづくりが重要。
- 区民にとって暮らしやすいまちをつくるためには、他自治体と連携して交通事業を検討することも重要。
- 幹線沿いと支線沿いでは性格が異なるため、それぞれ分けてまちづくりを考えるべきではないか。
- 大田区は全然進んでいない都市計画道路が多く、建物や土地の利活用等に様々な制約を受けている。これらを見直すことでまちづくりは大きく変わってくる部分があるのではないか。

住まい



- 高齢者が施設に入所することなどにより、適正に管理されていない空家が増加しているが、空家の情報をいち早く捉えるためにも、各関係部署や出張所は自治会町会との情報共有などの連携が重要となってくるのではないか。

（２）第１回会議の振り返り

分野	進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見

DX



- 基本構想のような大きな将来像においてDXが前面に出てくるものではなく、施策との関係性の中で必要となって出てくるものである。スマートシティはあくまでツールであり、目的に対してデジタルをどう活用するかが重要。
- 郵送が必要な申請は、例えばメールで済むようにデジタル化を進めてほしい。一方で高齢者等に対するデジタルデバイド対策も重要。
- 国の防災とDXにおける考え方を踏まえ、一律的な情報提供ではなく個別最適な情報を提供し、災害弱者の方のみならずその支援者の方も含めたきめ細やかなサポートを行うために、様々な情報を連携していくことが必要。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

人口



- ファミリー層の流出という課題もあるが、一方で20代の転入は多く、交通のアクセスがよいことや、新卒や単身で住むには便利という大きな強みもある。人口は、そういった強みの観点から捉えてもよいのではないか。
- 大田区の小学校に通いたいと思っていただけるような、魅力的な取組が必要ではないか。
- 20代・30代では、大田区では男性が多く、世田谷区では女性が多いというデータを見たことがある。大田区は職住近接で、男性には住みやすい一方、女性にはあまり選ばれていない。女性に選ばれるようになれば、さらに良くなるのではないか。
- 子育て世代の区外転出を食い止める施策が必要である。安心して暮らせる環境を作るために、街路灯の設置間隔の基準の見直しや駅前の環境浄化事業、駅周辺の客引き・客待ちの一掃が求められる。

自治体経営



- 行政のみに任せるのではなく、住民自身が区政に参加していくことも重要。行政が住民から意見を伺う場合には、特定の少数の意見のみを伺うのではなく、例えばテキストマイニングなど、テクノロジーを活用して多くの方からの意見を伺い、かつ、そのことをしっかりと住民に示していくことが重要。

２　第１回会議の振り返り等

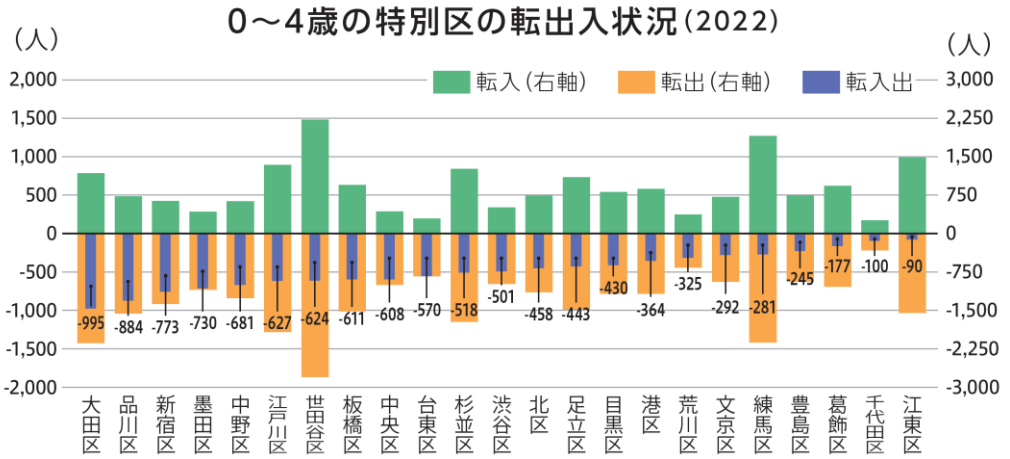
（３）追加データ
①人口関連

（3）人口関連データ

大田区における0～4歳の転入転出増減数推移（23区中の順位）

年	増減数（転入数－転出数）	順位（ワースト）
2017	-452	4
2018	-659	1
2019	-834	1
2020	-1096	1
2021	-1009	1
2022	-995	1

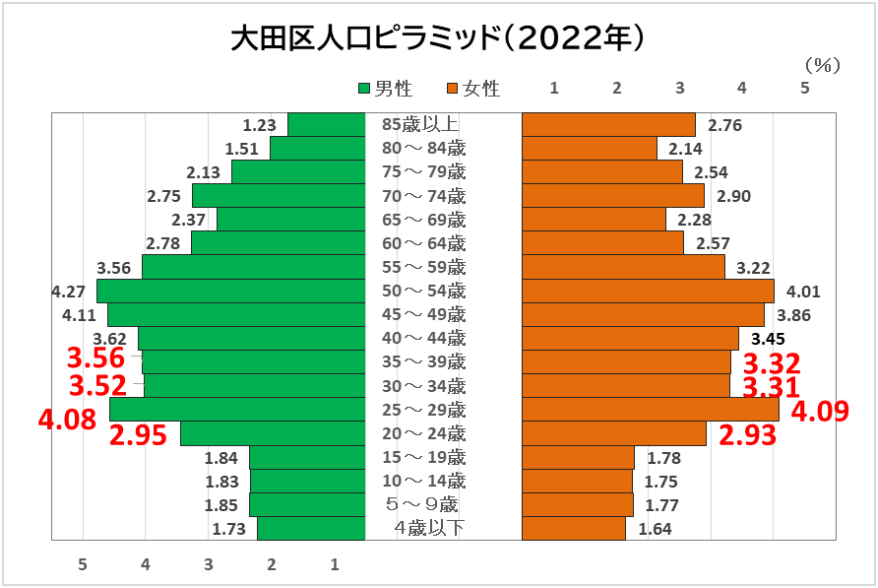
（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基に作成

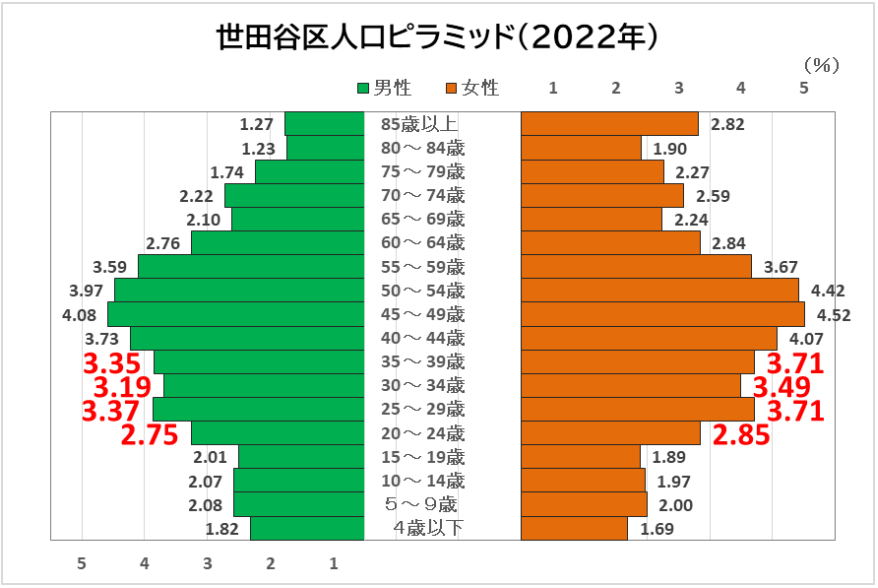


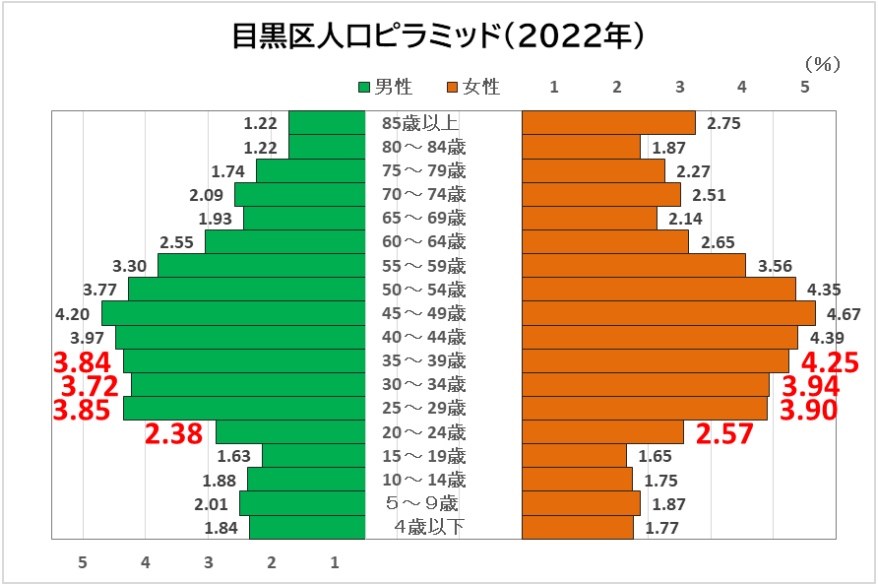
（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基に作成

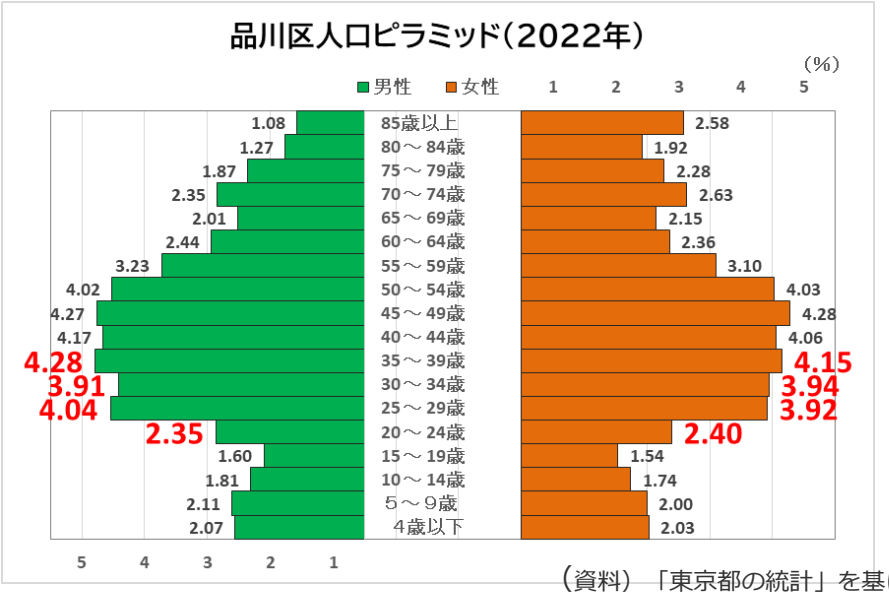
（3）人口関連データ

周辺自治体との年齢構成比の比較（人口ピラミッド）









（資料）「東京都の統計」を基に作成

２　第１回会議の振り返り等

（３）追加データ
②転出理由

（３）転出者アンケート調査　概要

調査目的	大田区からの転出者に対して、住むまちを選択する上で何を重視したか等を聞き取ることにより、区の課題を抽出することを目的とする。
調査の設計	（１）調査の対象　東京都内（大田区を除く）、神奈川県、千葉県、埼玉県への転出者 （２）調査期間　令和４年４月18日から令和５年６月30日 （３）調査票配布数　約14,000人（令和5年６月30日時点　概算） （４）調査方法　戸籍住民課及び特別出張所における窓口配布
調査内容	○基本情報（年代、性別など） ○転出先 ○他自治体を居住地に選んだ理由 ○その他(まちのイメージ、自然環境、子育て支援など)
回収結果	回答者数　1,547件 回答率　約11%

（３）転出者アンケート調査　結果

（質問）転出後住所をご回答ください。（１つだけ選択）

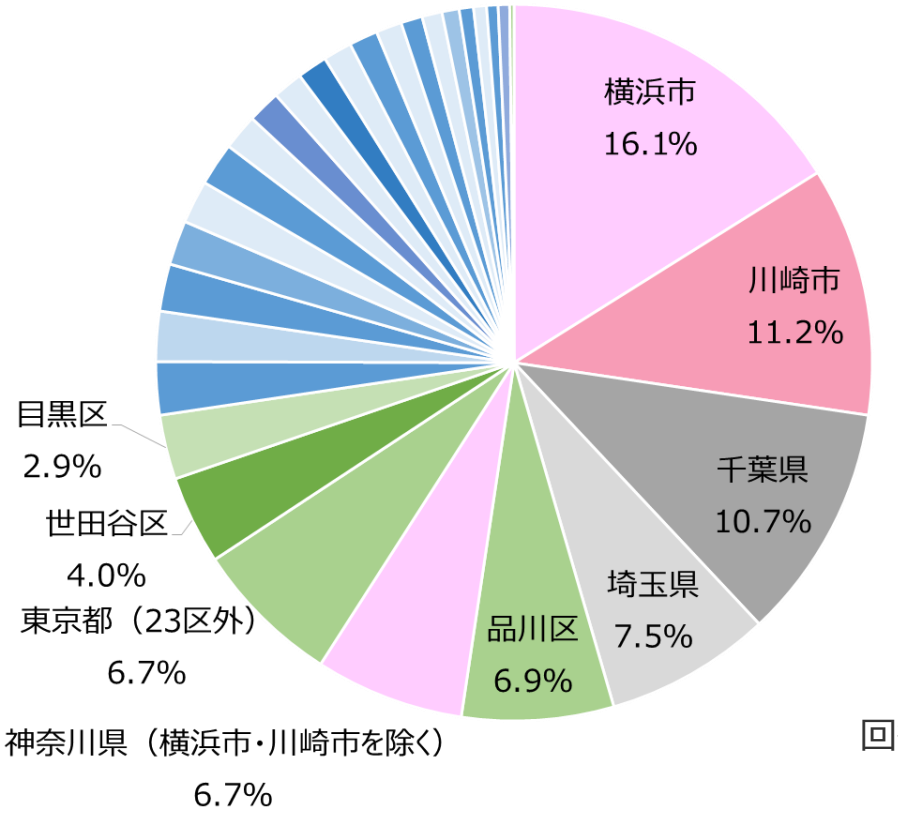
（回答結果）転出後第１位は「横浜市（16.1%）」

・転出後は「横浜市（16.1%）」、「川崎市（11.2%）」、「千葉県（10.7%）」の順となっている。

・23区では、「品川区（6.9%）」が最も多く、次いで「世田谷区」、「目黒区」の順となっている。

自治体	合計
横浜市	249
川崎市	174
千葉県	165
埼玉県	116
品川区	106
神奈川県（横浜市・川崎市を除く）	104
東京都（23区外）	103
世田谷区	62
目黒区	45
江東区	37
港区	35
板橋区	33
杉並区	31
墨田区	30
足立区	30
台東区	25
葛飾区	23
練馬区	21
中央区	21
中野区	20

※上位20番目まで



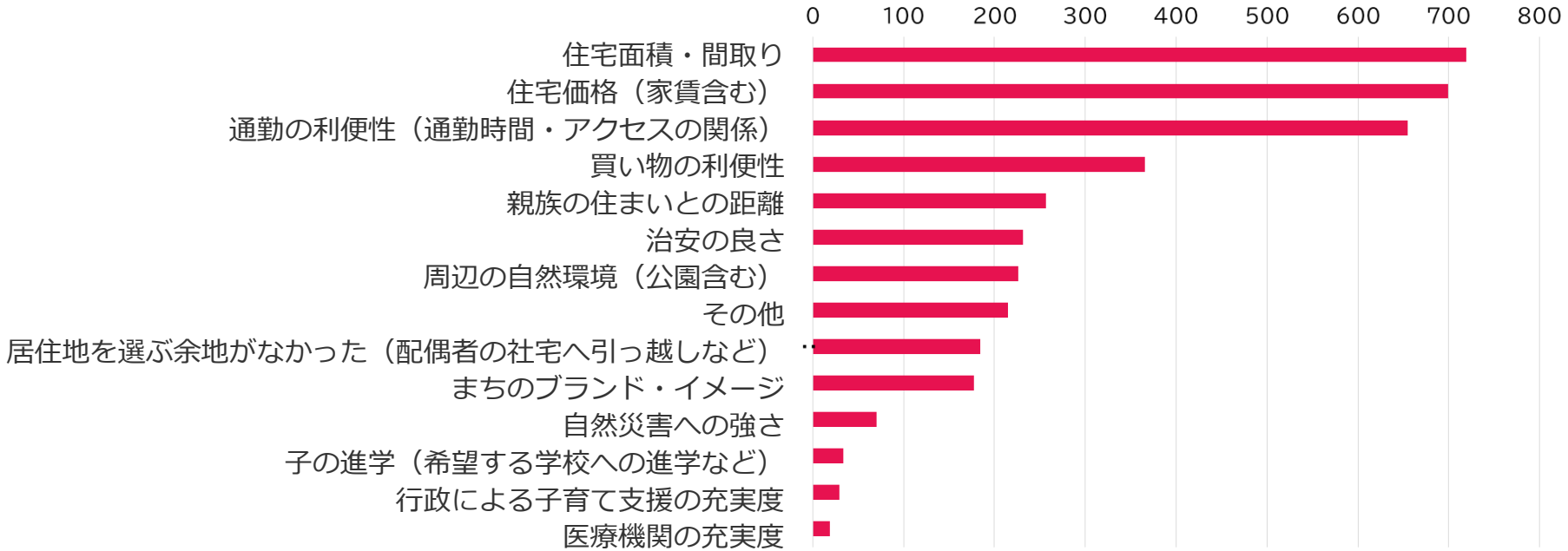
回答者数：1,547

（３）転出者アンケート調査　結果

（質問）転出先の居住地を選んだ理由をご回答ください。（上位３つまで選択）

（回答結果）第１位は「住宅面積・間取り」

・１位から3位までの合計数における第１位は、「住宅面積・間取り」であり、「住宅価格（家賃含む）」、「通勤の利便性（通勤時間・アクセスの関係）」がこれに次いでいる。



回答総数：3,893
回答者数：1,547

（３）転出者アンケート調査　結果

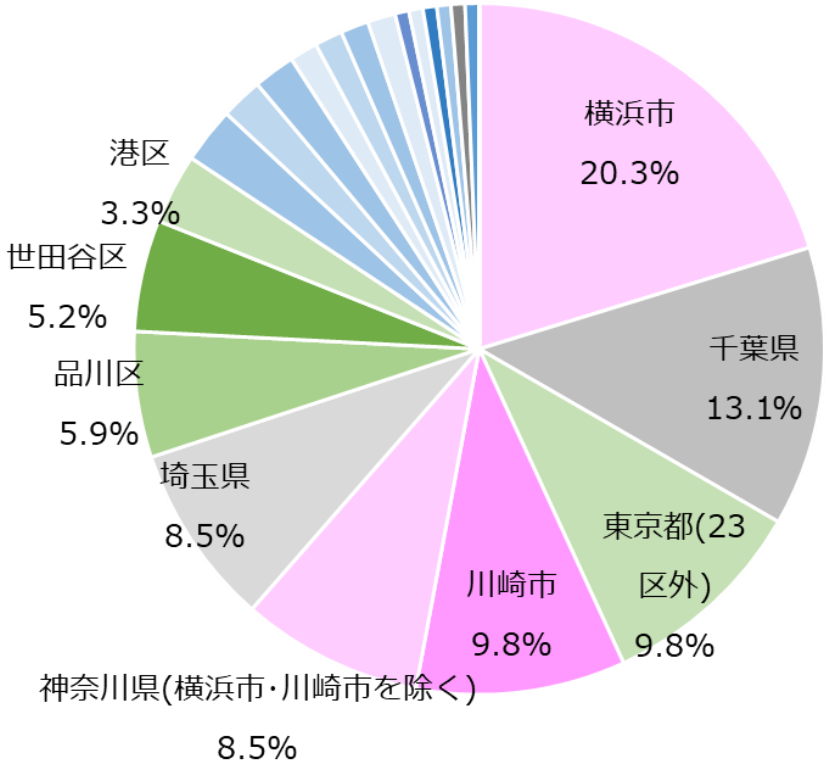
（質問）子供が１人以上かつ20代～40代の世帯に絞った、転出後住所（１つだけ選択）

（回答結果）転出後第１位は「横浜市（20.3%）」

・転出後は「横浜市（20.3%）」、「千葉県（13.1%）」、「東京都（23区外）（9.8%）」の順となっている。

・23区では、「品川区（5.9%）」が最も多く、次いで「世田谷区」、「港区」の順となっている。

自治体	合計
横浜市	31
千葉県	20
東京都(23区外)	15
川崎市	15
神奈川県(横浜市･川崎市を除く)	13
埼玉県	13
品川区	9
世田谷区	8
港区	5
江東区	4
杉並区	3
足立区	3
目黒区	2
練馬区	2
葛飾区	2
その他	2
中央区	1
新宿区	1
文京区	1
墨田区	1



回答者数：153

※上位20番目まで

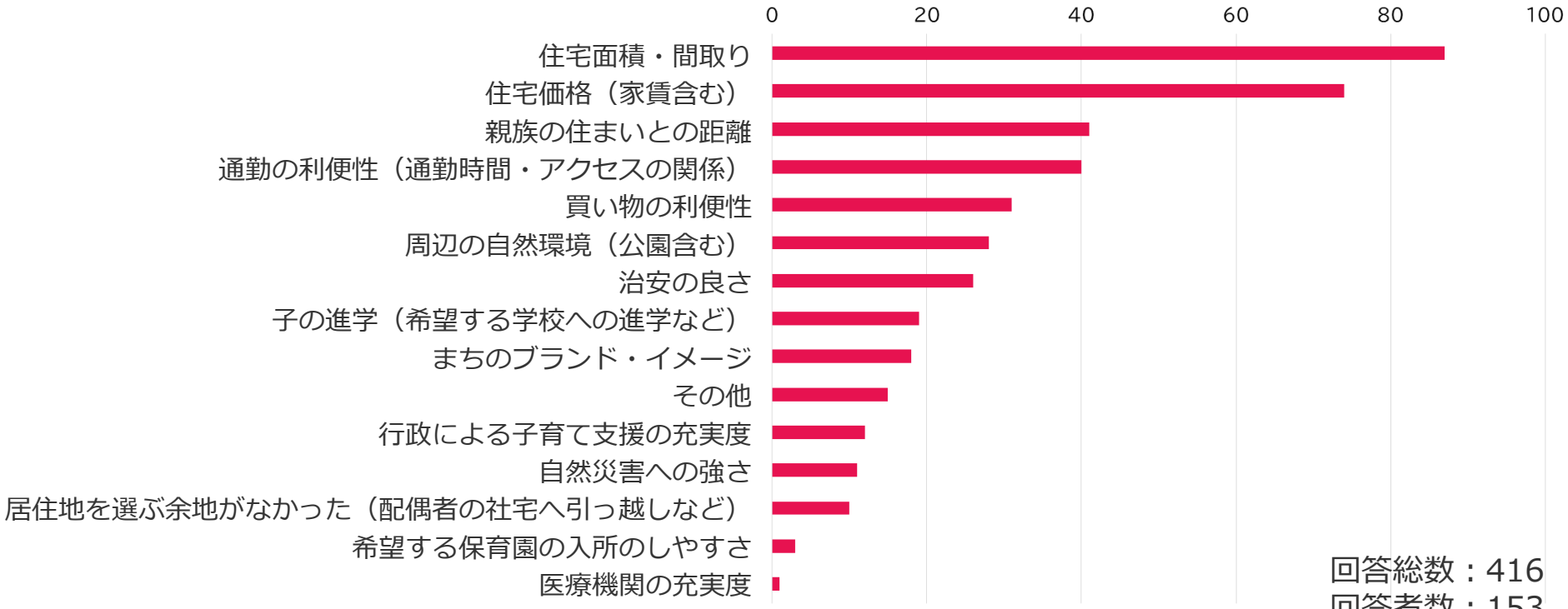
※クロス集計のため得票数が少ない点に注意

（３）転出者アンケート調査　結果

（質問）子供が１人以上かつ20代～40代の世帯に絞った、
転出先の居住地を選んだ理由（上位３つまで選択）

（回答結果）第１位は「住宅面積・間取り」

・１位から３位までの合計数における第１位は、「住宅面積・間取り」であり、「住宅価格（家賃含む）」、「親族の住まいとの距離」がこれに続いている。



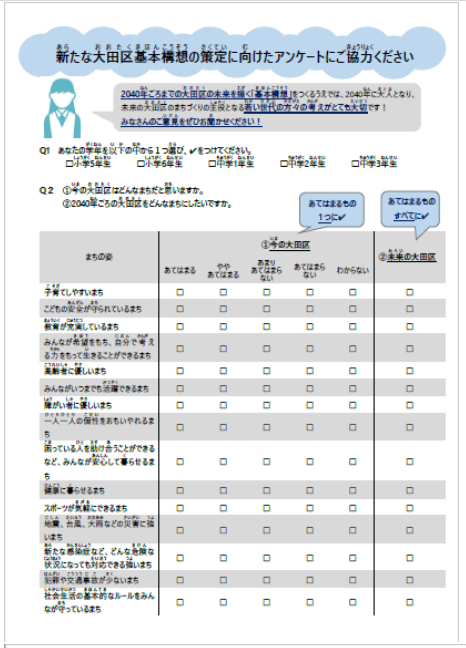
回答総数：416
回答者数：153

※クロス集計のため得票数が少ない点に注意

3　アンケート結果等の区民意見の報告（速報）

3　アンケート実施概要

調査目的	大田区の目指すべき将来像を示す「大田区基本構想」の策定に向けて、広くあらゆる世代の区民のみなさまのご意見を伺う
アンケートの概要	①30個のまちの姿について、「今の大田区」にどの程度あてはまるかを選択 ②同じ30個のまちの姿について、未来にこんなまちになってほしいと思うまちの姿にあてはまるものを選択 ③「未来にこんなまちになって欲しい」という意見を自由に記述
対象者	区内在住・在勤・在学の方
配布・回収方法	インターネット・FAX・郵送
調査期間	７月14日から９月11日まで
回答数	（※７月31日時点） 小中学生：11,651件 大人（高校生以上）：4,069件 合計：15,720件 （上記のうち区立小中学校を通じた回答数 小中学生：11,614件　　保護者：3,418件）


新たな大田区基本構想の策定に向けたアンケートにご協力ください

2040年ごろまでの大田区の未来を描く「基本構想」をつくるうえでは、2040年に大人となり、未来の大田区のまちづくりの主役となる若い世代の方々の考えがとても大切です！
みなさんのご意見をぜひお聞かせください！

Q1　あなたの学年を以下の中から１つ選び、✔をつけてください。
□小学5年生　□小学6年生　□中学1年生　□中学2年生　□中学3年生

Q2　①今の大田区はどんなまちだと思いますか。
②2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。

あてはまるもの1つに✔　あてはまるものすべてに✔

まちの姿	①今の大田区 あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない	わからない	②未来の大田区
子育てしやすいまち	□	□	□	□	□	□
こどもの安全が守られているまち	□	□	□	□	□	□
教育が充実しているまち	□	□	□	□	□	□
みんなが多様なもち、自分で考える力をもって生きることができるまち	□	□	□	□	□	□
高齢者に優しいまち	□	□	□	□	□	□
みんながいつまでも活躍できるまち	□	□	□	□	□	□
障がい者に優しいまち	□	□	□	□	□	□
一人一人の個性をおもいやれるまち	□	□	□	□	□	□
困っている人を助け合うことができるなど、みんなが安心して暮らせるまち	□	□	□	□	□	□
健康に暮らせるまち	□	□	□	□	□	□
スポーツが気軽にできるまち	□	□	□	□	□	□
地震、台風、大雨などの災害に強いまち	□	□	□	□	□	□
新たな感染症など、どんな危険な状況になっても対応できる強いまち	□	□	□	□	□	□
犯罪や交通事故が少ないまち	□	□	□	□	□	□
社会生活の基本的なルールをみんなが守っているまち	□	□	□	□	□	□
電車やバスなどの交通が便利で移動しやすいまち	□	□	□	□	□	□
多くの人が集まり、元気のあるまち	□	□	□	□	□	□
水や緑と触れ合えるまち	□	□	□	□	□	□
休日や仕事帰りに楽しめる場所がたくさんあるまち	□	□	□	□	□	□
住んでいる地域の人たちのつながりが強く、みんなで協力しあえるまち	□	□	□	□	□	□
デジタル化が進んで便利なまち	□	□	□	□	□	□
国や地域などが異なる様々な人がお互いを理解し、おもいやれるまち	□	□	□	□	□	□
工場や会社や商店などの産業・経済に活力があるまち	□	□	□	□	□	□
新しいビジネスやサービスが生まれるまち	□	□	□	□	□	□
文化や芸術が充実しているまち	□	□	□	□	□	□
区外から多くの人が訪れるまち	□	□	□	□	□	□
区民がまちを自慢でき、愛する心を持てるまち	□	□	□	□	□	□
地球環境を守り、豊かな暮らしを受け継いでいくまち	□	□	□	□	□	□
みんなで環境にやさしい行動をとっているまち	□	□	□	□	□	□
様々な国の人が、仕事や旅行などで訪れたくなる魅力あるまち	□	□	□	□	□	□

Q3　まちの未来の姿に関するご意見がありましたら、自由に記入してください。
※個人情報は記載しないようお願いします。

この調査についてのお問い合わせはこちら
大田区企画経営部企画調整　調査・企画担当　☎03-5744-1735

3　アンケート結果概要　※7月31日時点

大人が思う今の大田区のまちの姿

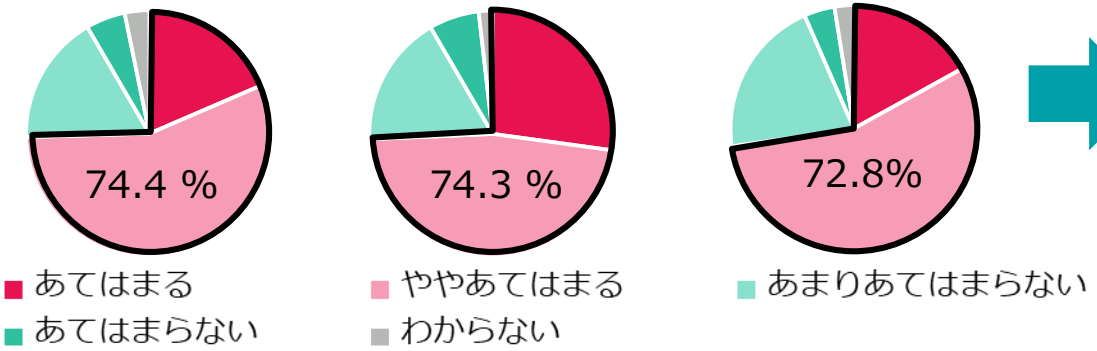


※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

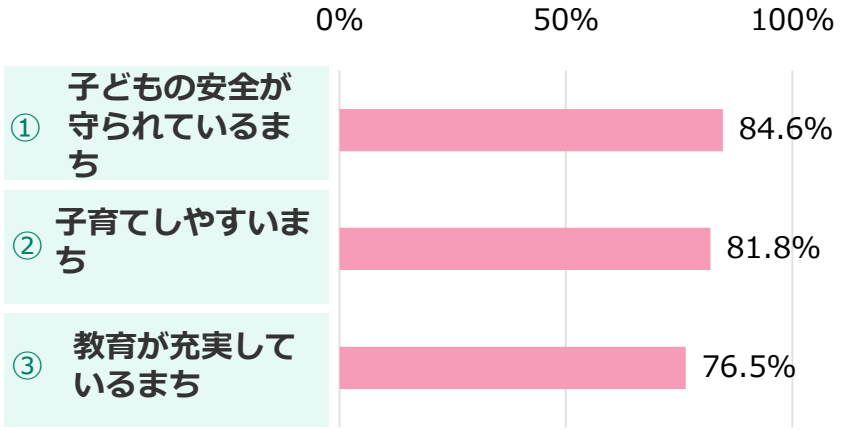
① 子育てしやすいまち

② 交通の利便性がよいまち

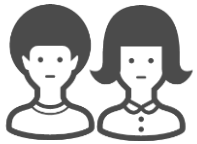
③ にぎわいのあるまち



大人が望む2040年ごろの大田区のまちの姿



子どもが思う今の大田区のまちの姿

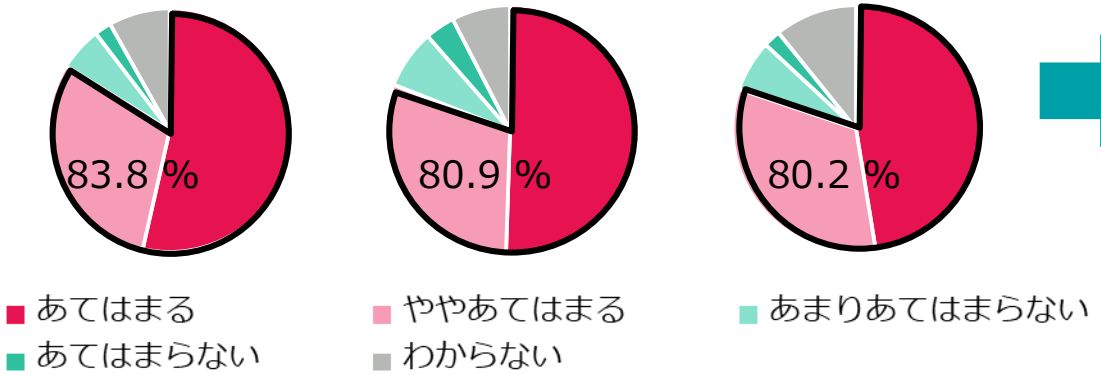


※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

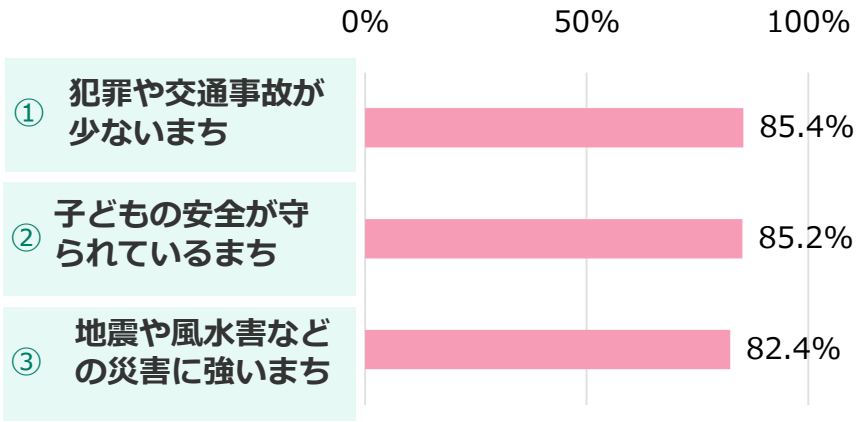
① 交通の利便性がよいまち

② 公園など憩いの場が充実しているまち

③ 健康に暮らせるまち



子どもが望む2040年ごろの大田区のまちの姿

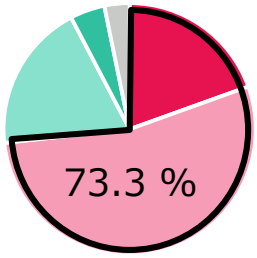


3　アンケート結果概要　※7月31日時点

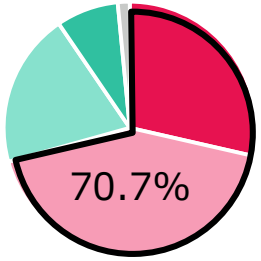
大人・一般が思う今の大田区のまちの姿

※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

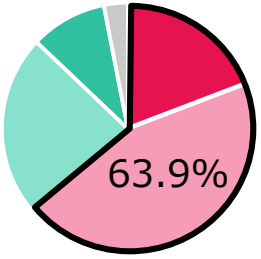
① にぎわいのあるまち



② 交通の利便性がよいまち

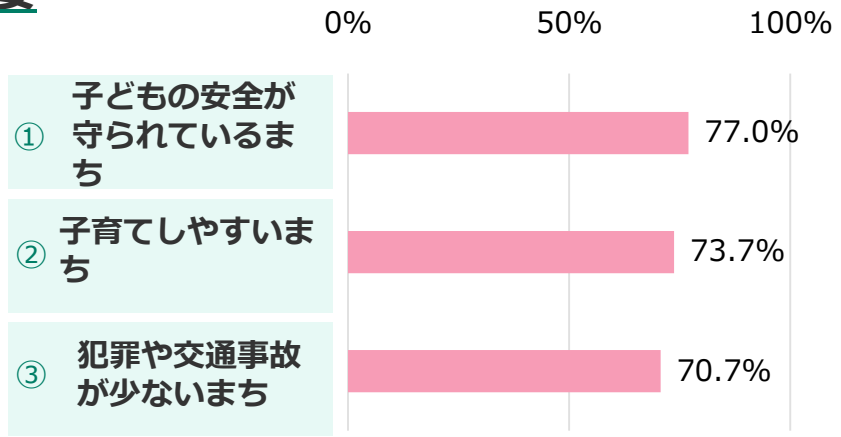


③ 水や緑と触れ合えるまち



■あてはまる　■ややあてはまる　■あまりあてはまらない
■あてはまらない　■わからない

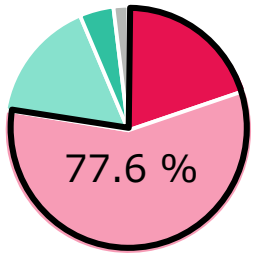
大人・一般が望む2040年ごろの大田区のまちの姿



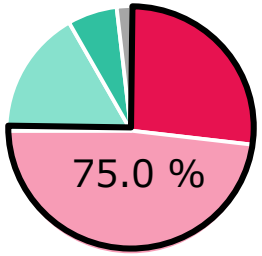
大人・保護者が思う今の大田区のまちの姿

※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

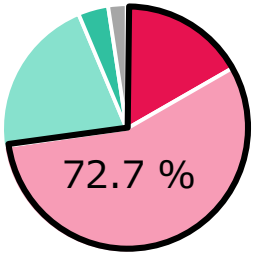
① 子育てしやすいまち



② 誰もが希望をもって自分らしく生きることができるまち

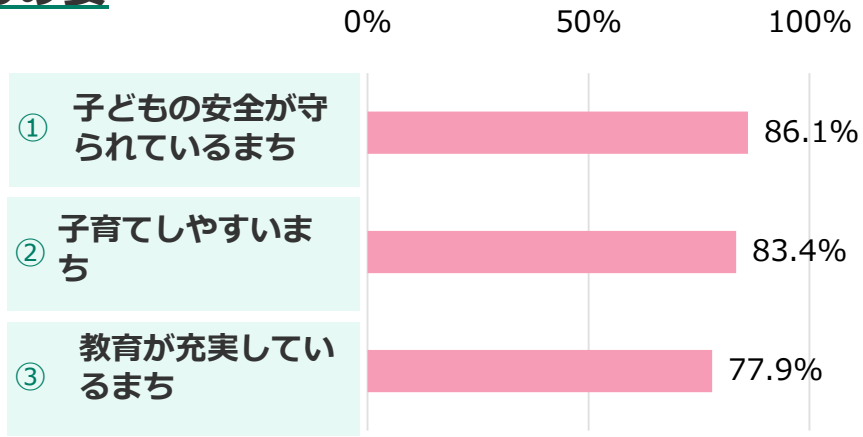


③ 誰もが安心して暮らせる福祉が充実しているまち



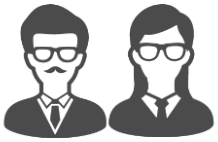
■あてはまる　■ややあてはまる　■あまりあてはまらない
■あてはまらない　■わからない

大人・保護者が望む2040年ごろの大田区のまちの姿

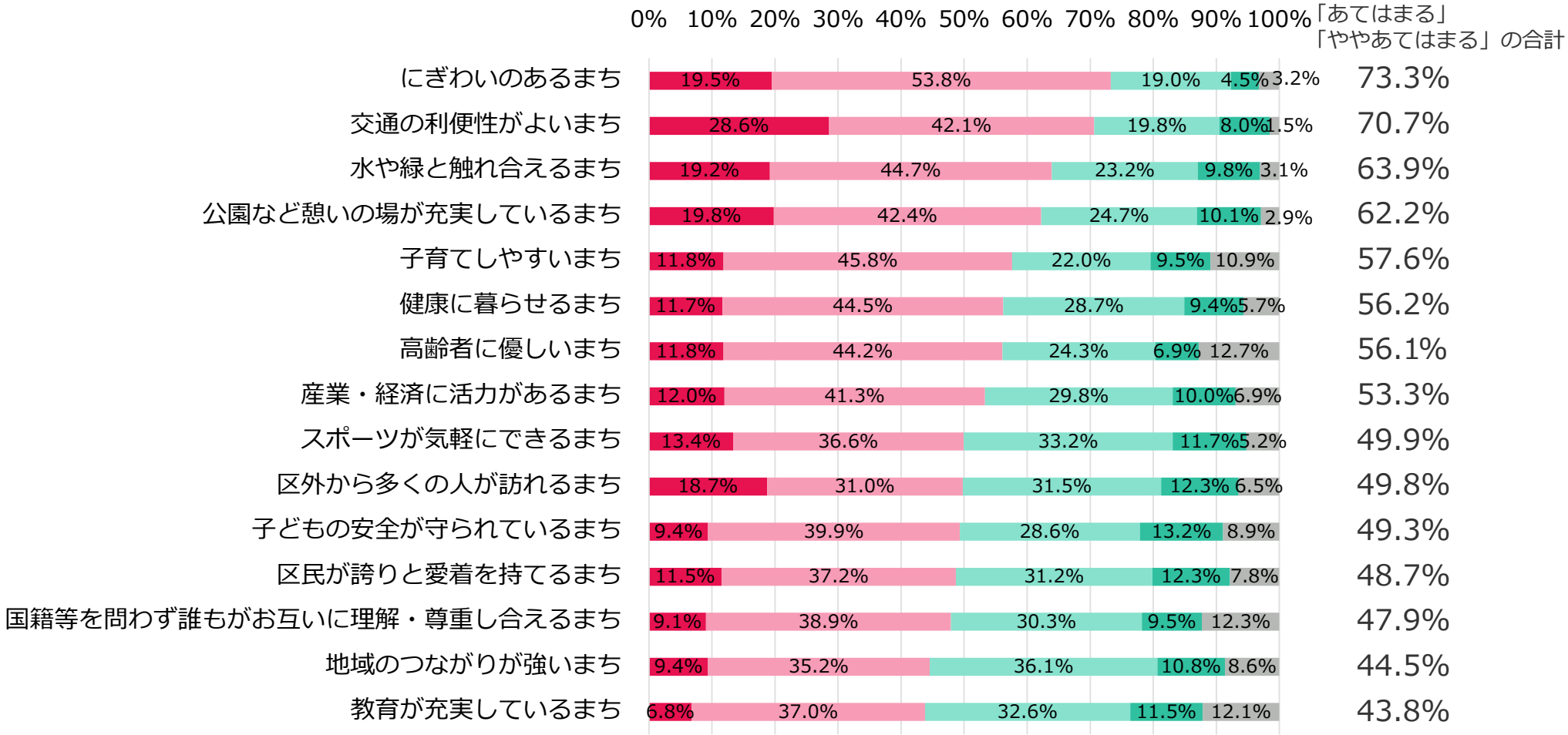


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

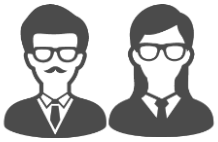


今の各まちの姿の結果①（上位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

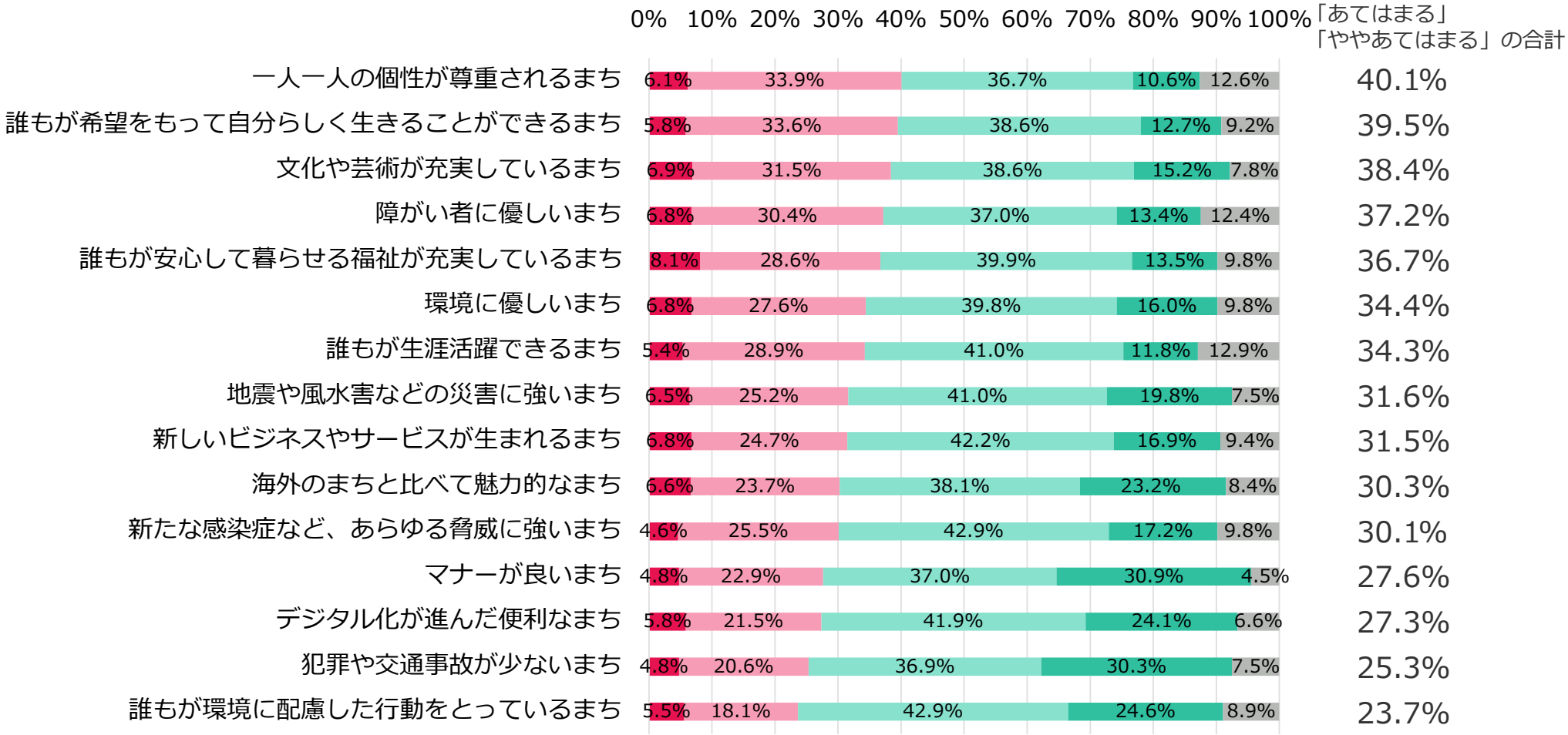


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

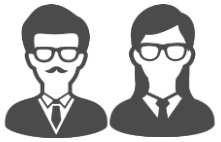


今の各まちの姿の結果②（下位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

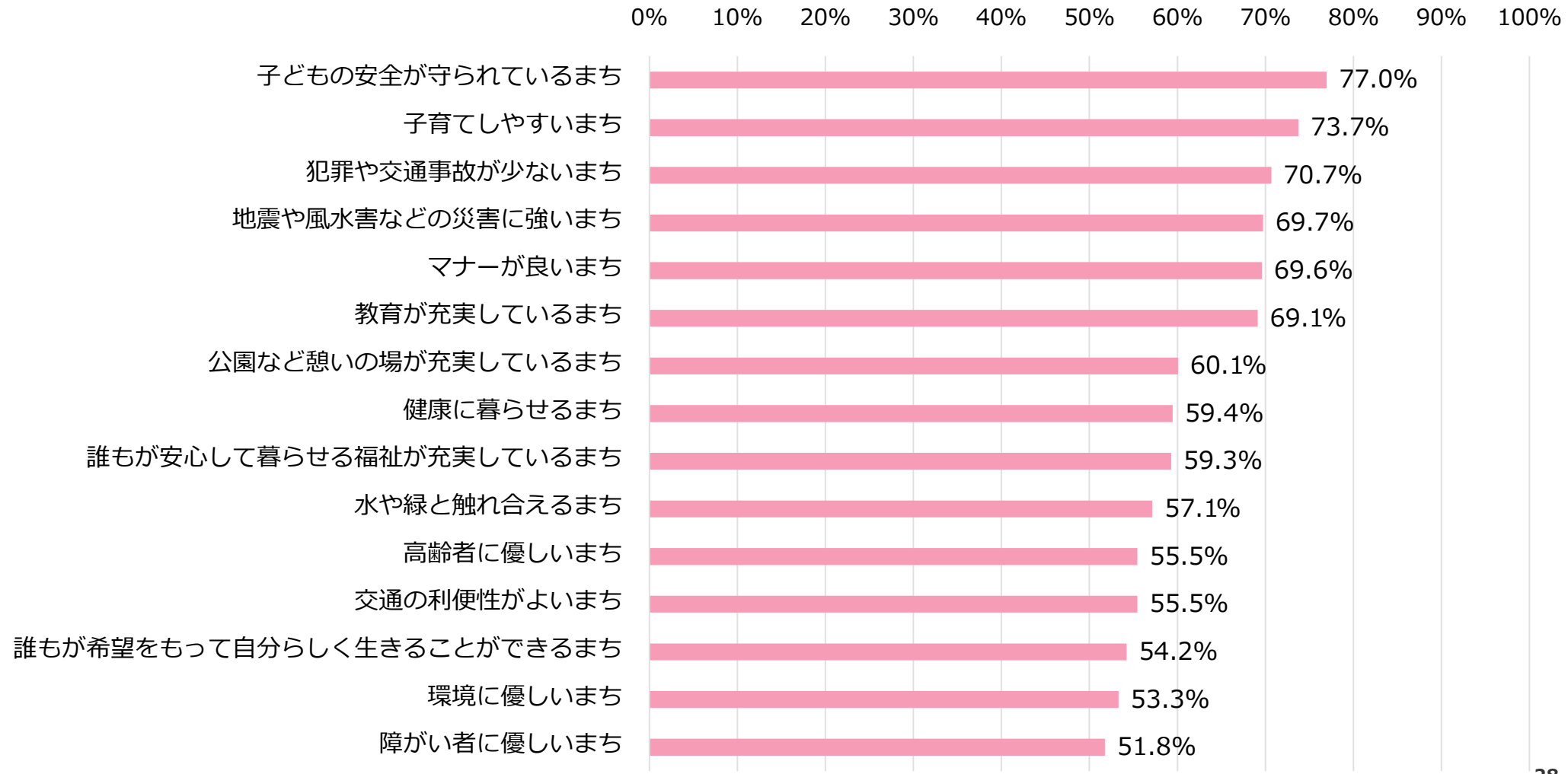


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）



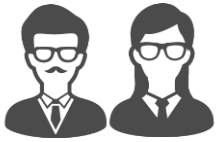
2040年ごろの各まちの姿の結果①（上位15項目）

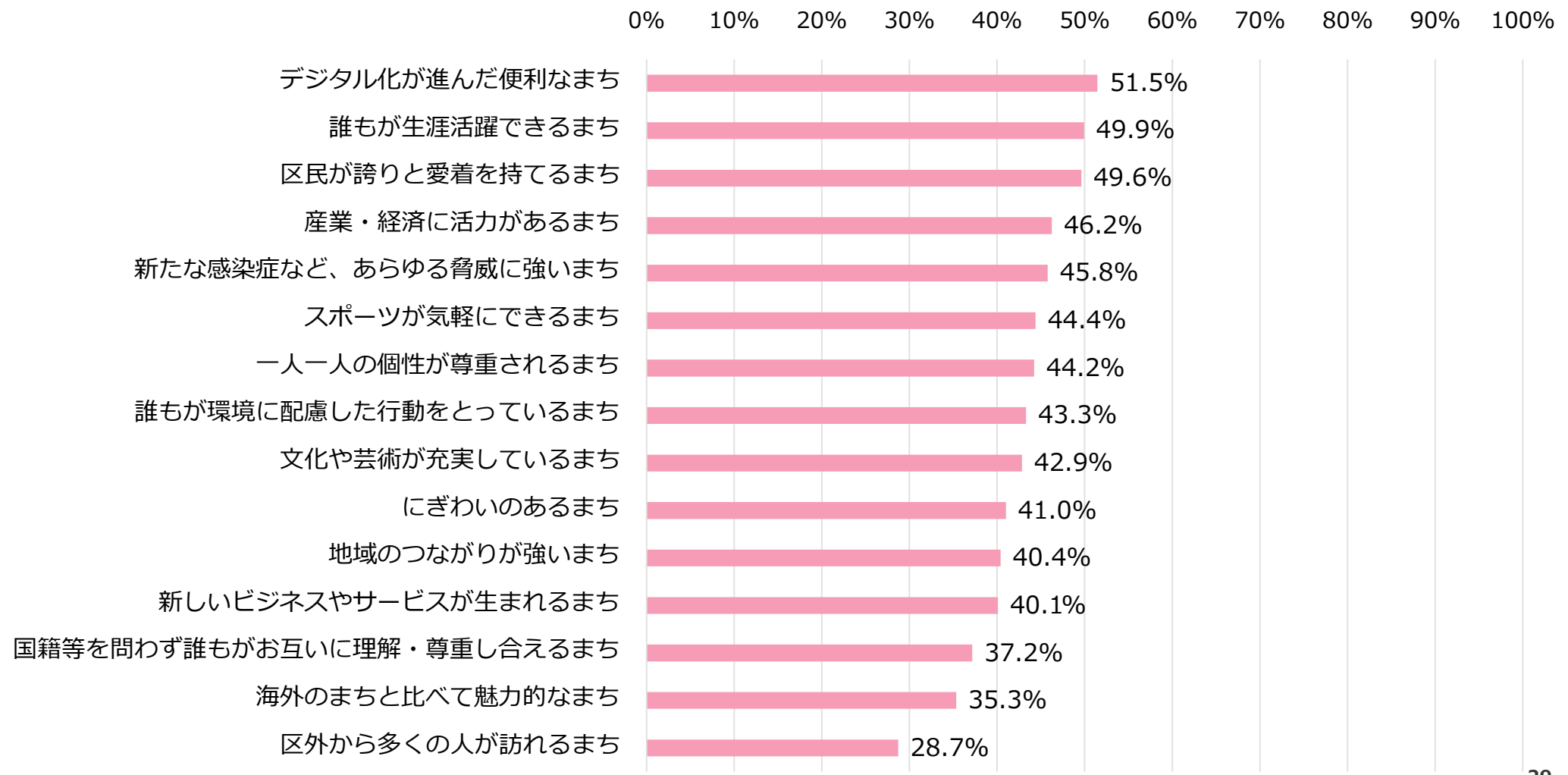


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

2040年ごろの各まちの姿の結果②（下位15項目）



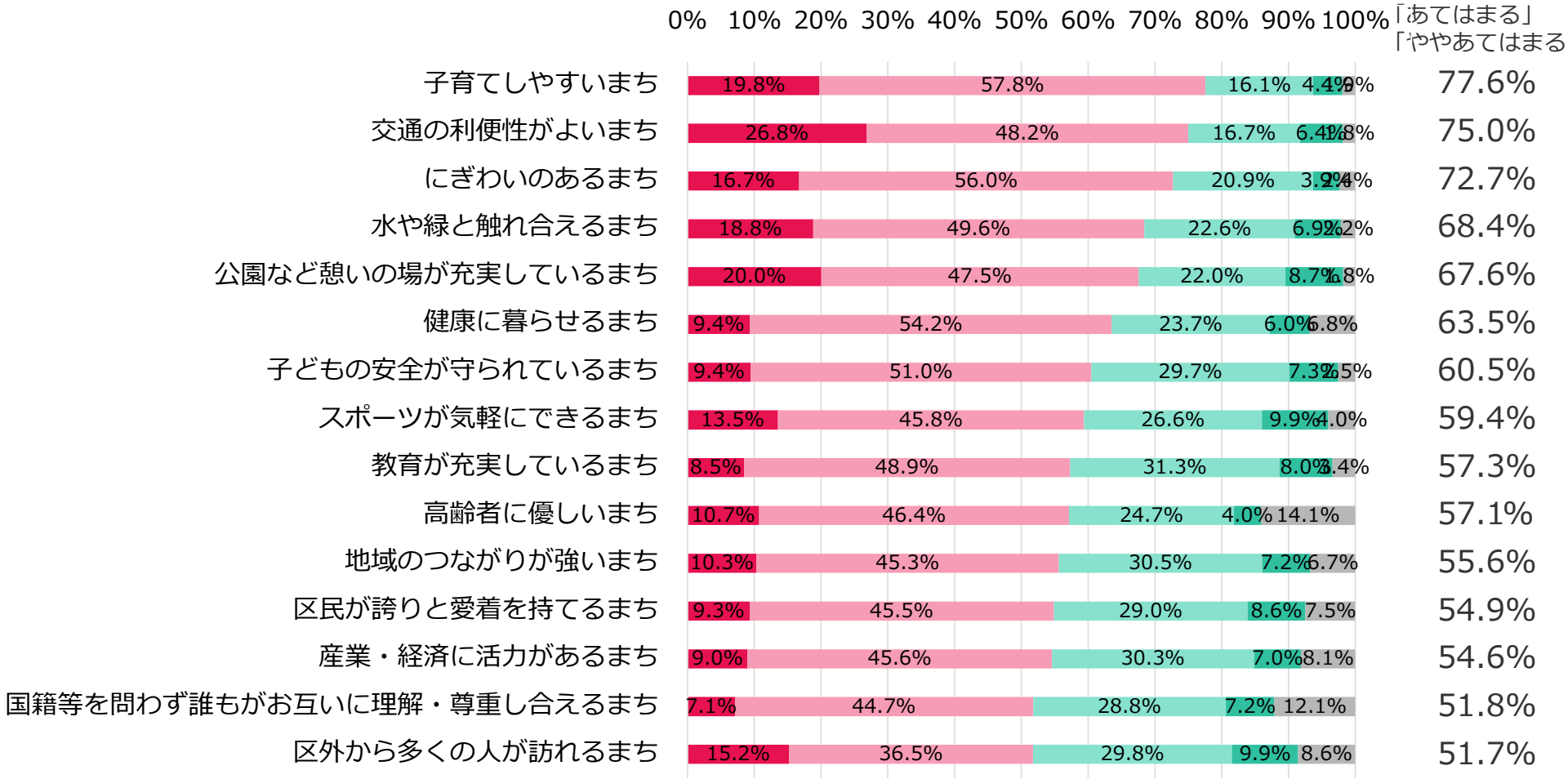


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（上位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順



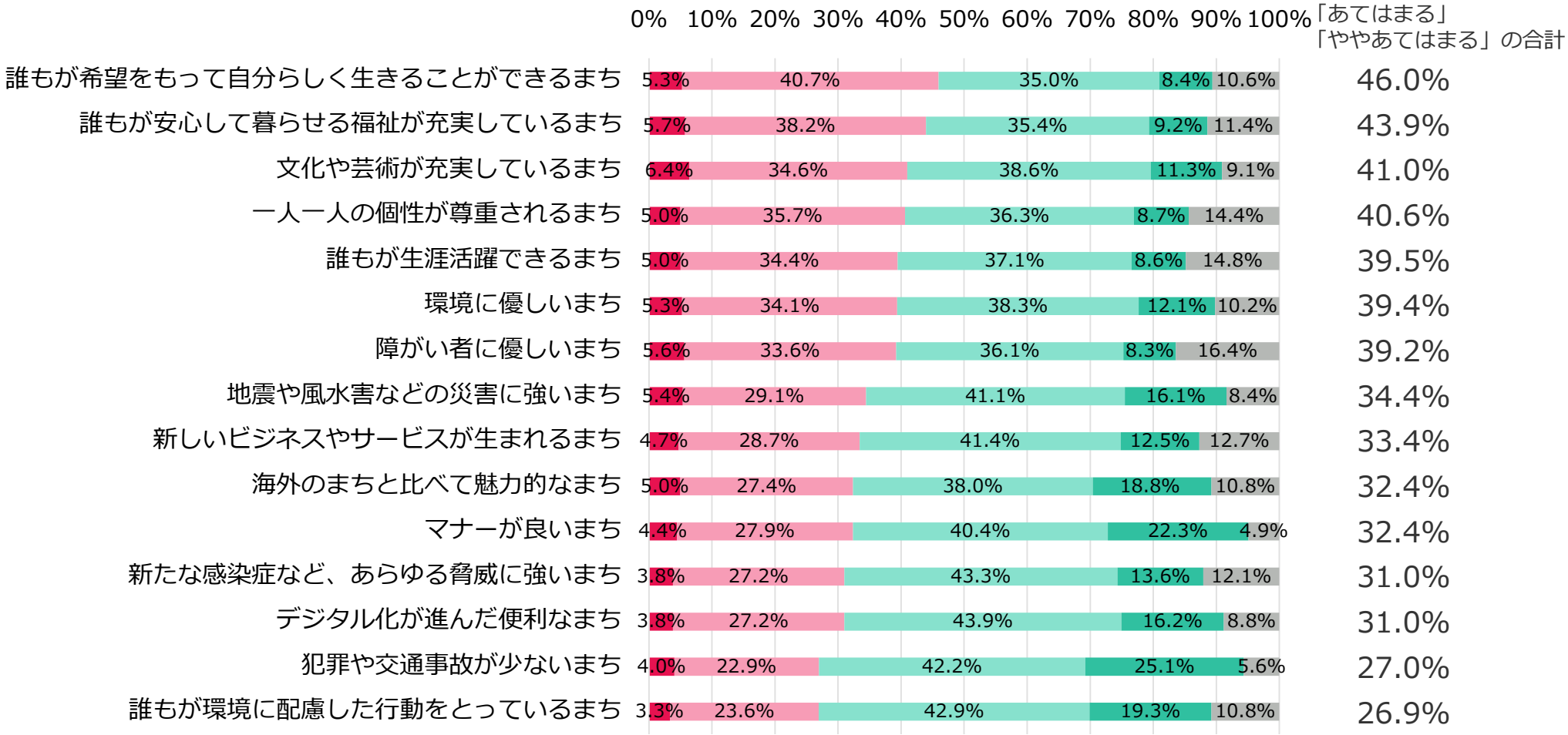


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果②（下位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順



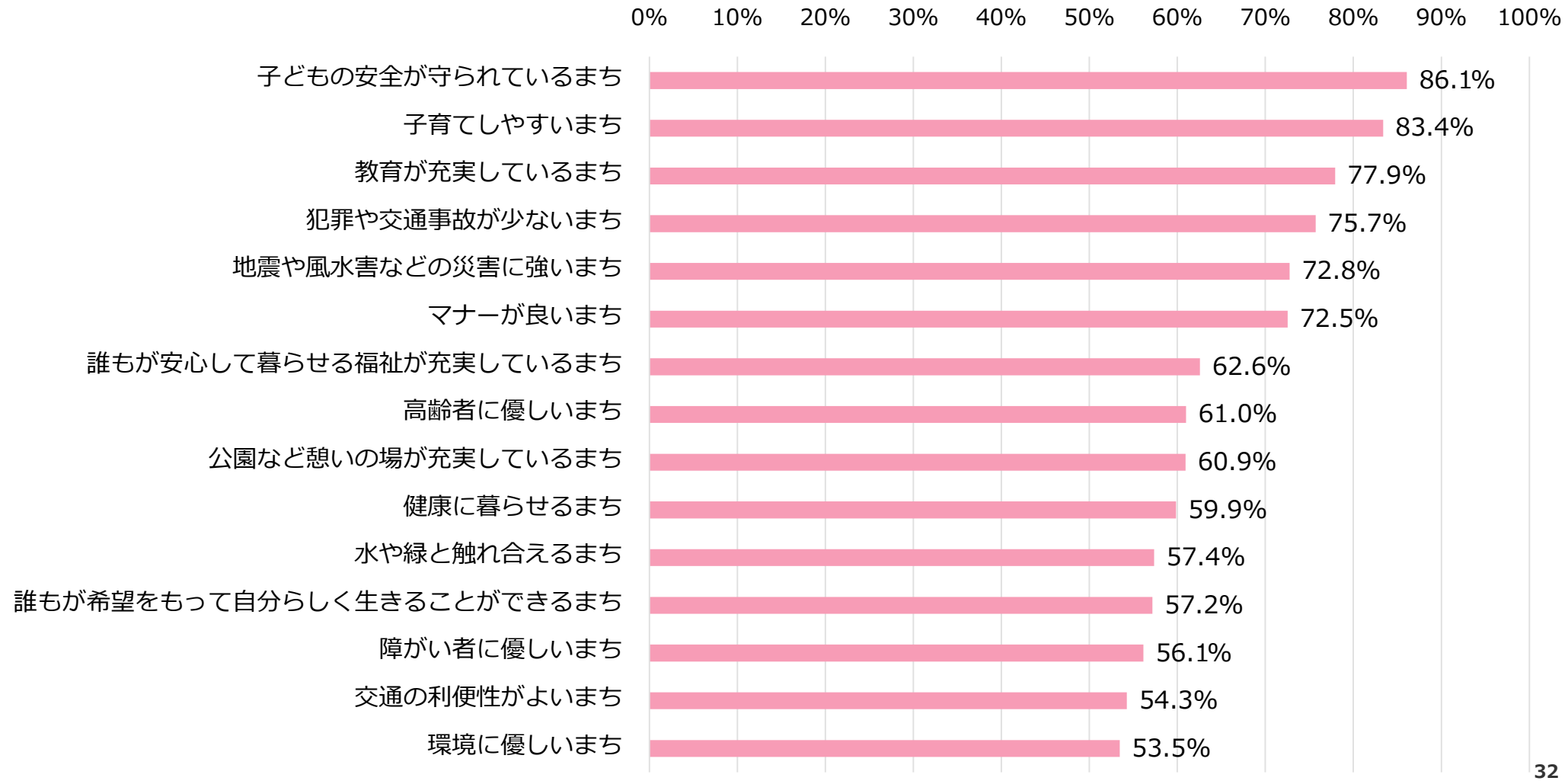


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

2040年ごろの各まちの姿の結果①（上位15項目）



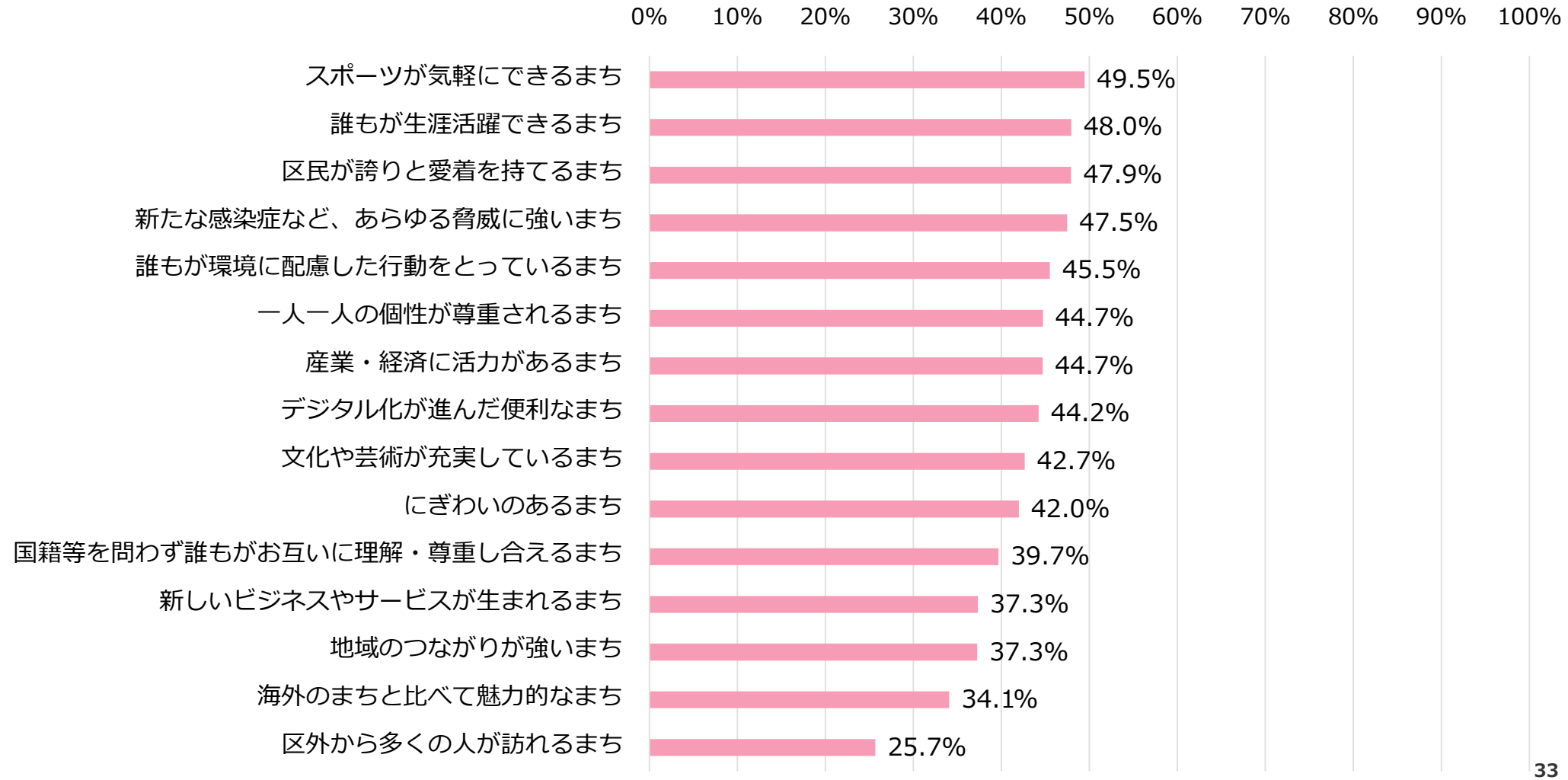


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

2040年ごろの各まちの姿の結果②（下位15項目）

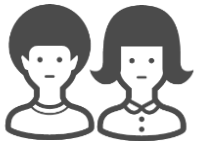


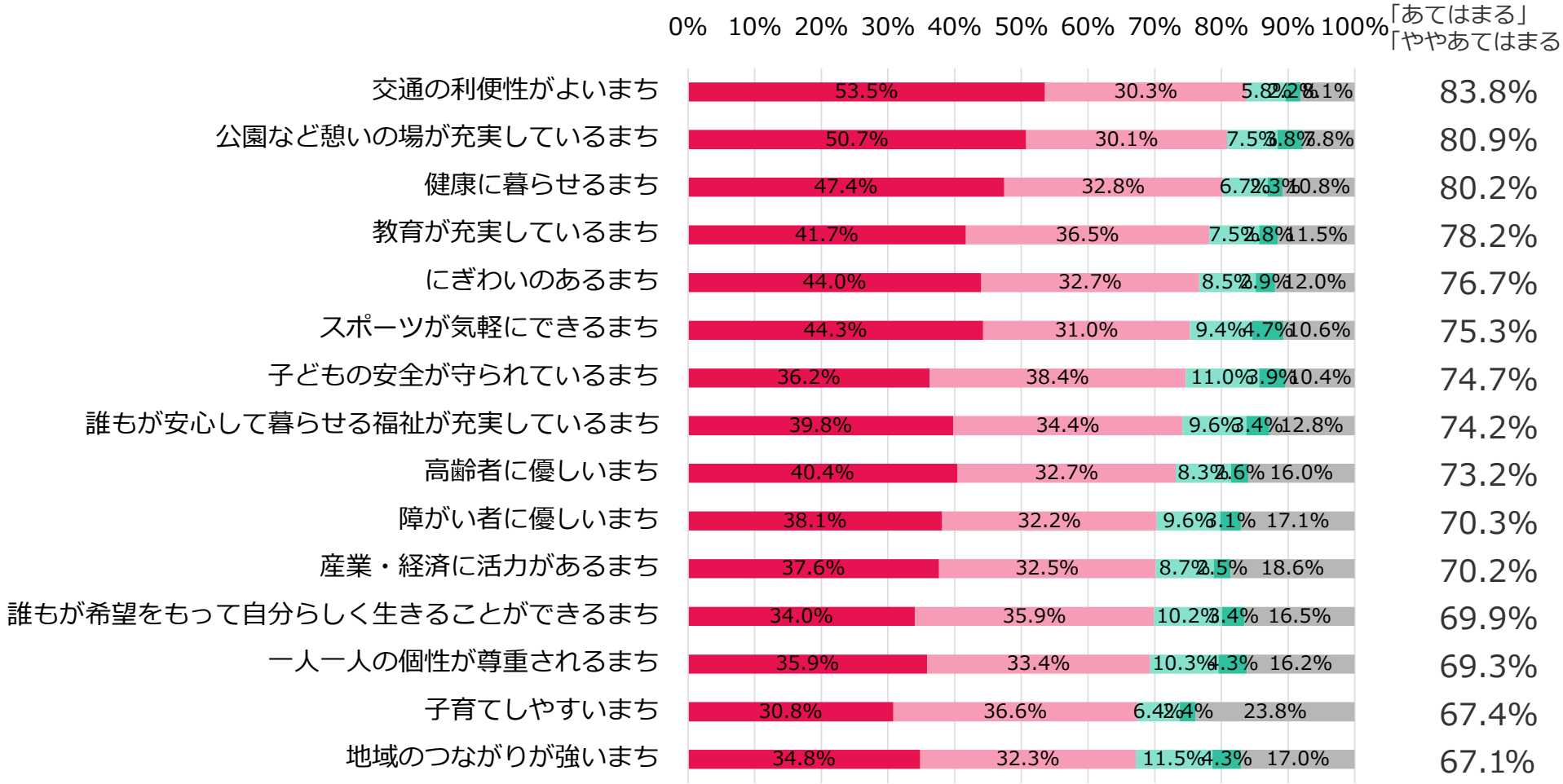


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（上位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

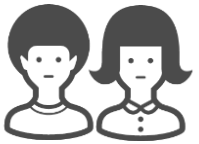


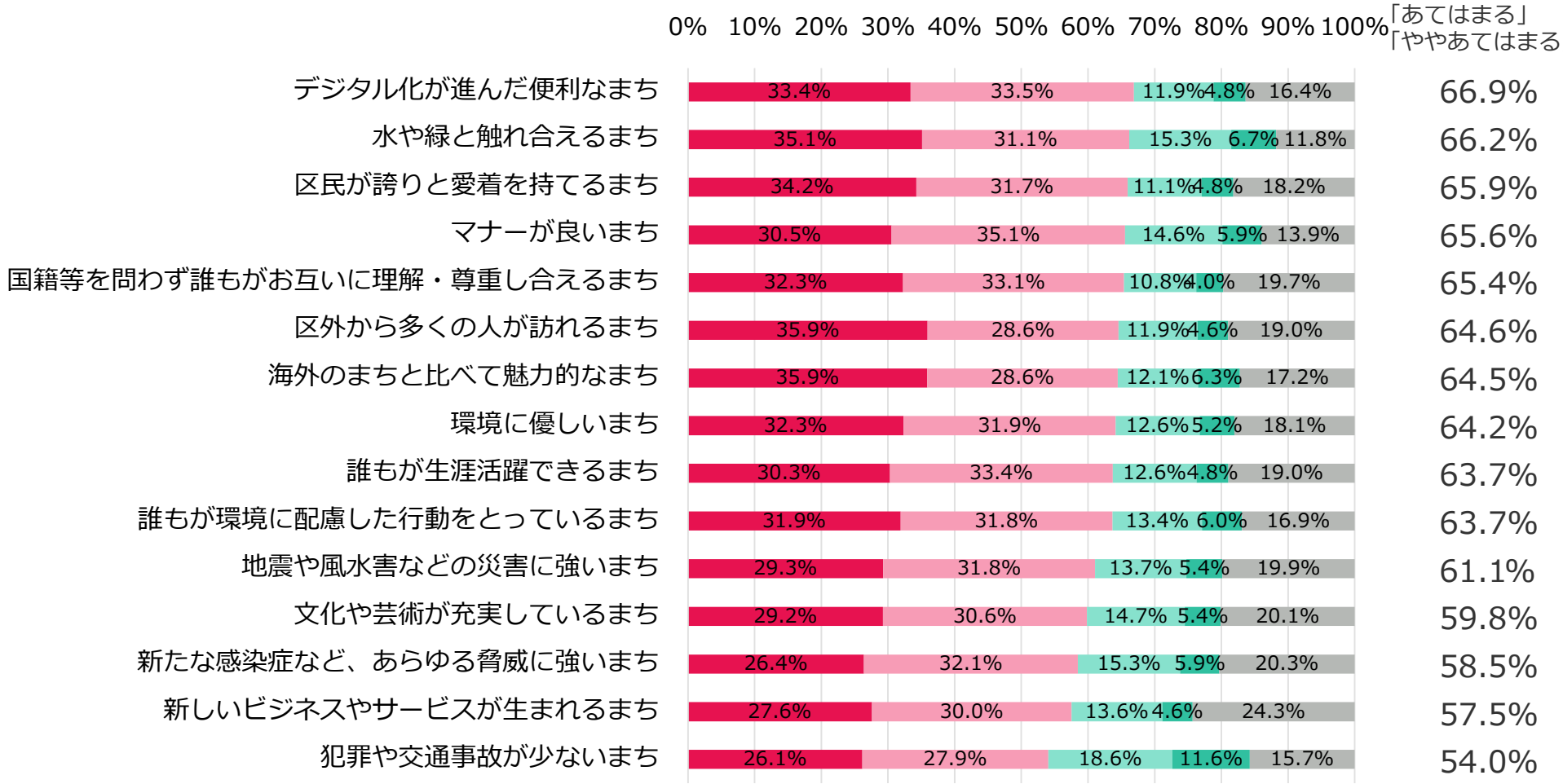


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果②（下位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

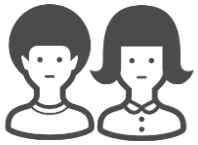


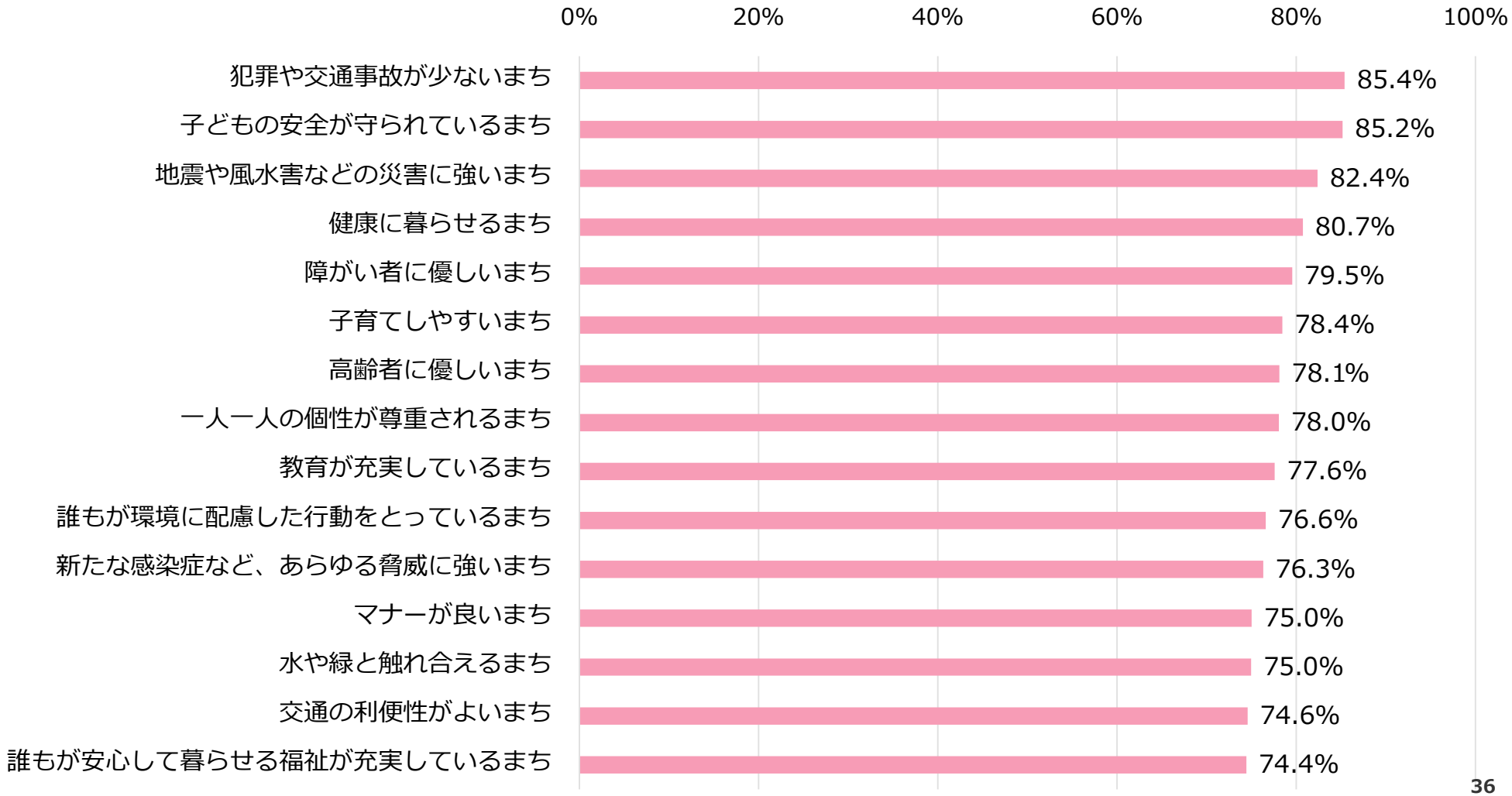


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

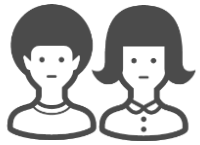
2040年ごろの各まちの姿の結果①（上位15項目）



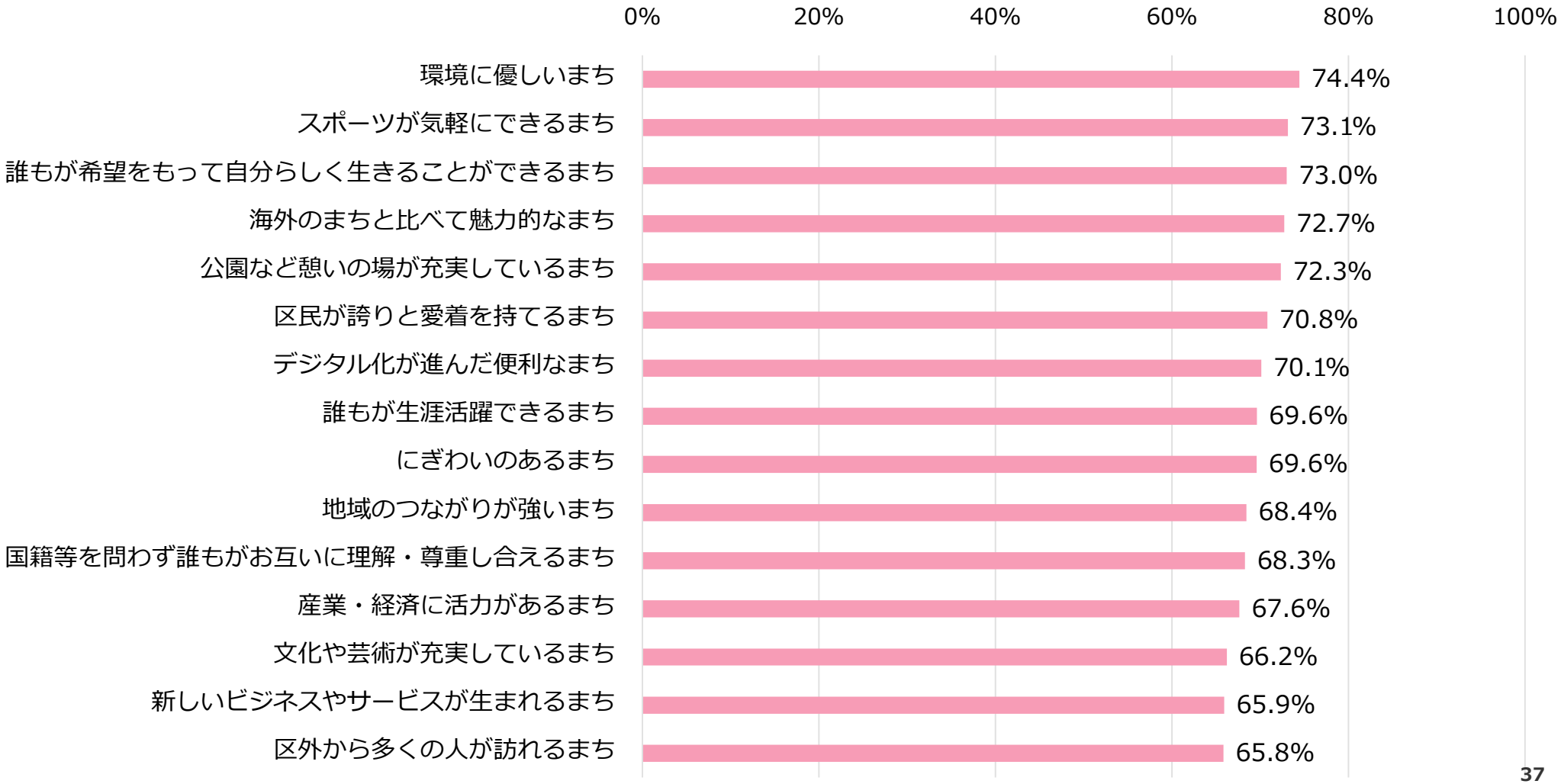


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

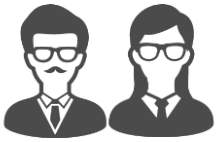


2040年ごろの各まちの姿の結果②（下位15項目）

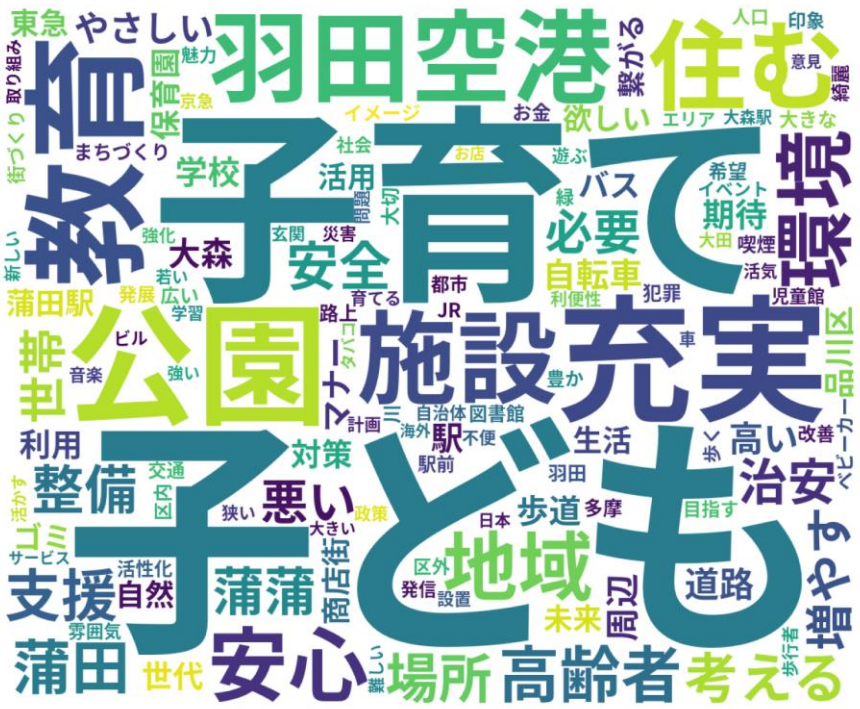


3　アンケート自由記述欄（大人・一般）

Q3　まちの将来像に関するご意見がございましたら、自由に記載をお願いします。



＜302人の自由記述で作成したワードクラウド＞



※ワードクラウド：
　自由意見における単語の頻出頻度を大きさで表したもの

＜年代別の自由記述頻出語＞

頻出割合	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
高	充実	子ども	子ども	子ども	羽田空港
	子育て	子育て	子育て	羽田空港	充実
	子ども	公園	公園	施設	高齢者
	音楽	教育	安心	安全	環境
	図書館	施設	学校	整備	ゴミ
		支援	高齢者	安心	
		安心	環境	周辺	
		蒲田	教育	高齢者	
		地域	地域	大森	
		治安	自然	都市	

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成
※出現数５つ以上で作成

3　アンケート自由記述欄（大人・保護者）

Q3　まちの将来像に関するご意見がございましたら、自由に記載をお願いします。



＜995人の自由記述で作成したワードクラウド＞



※ワードクラウド：
　自由意見における単語の頻出頻度を大きさで表したもの

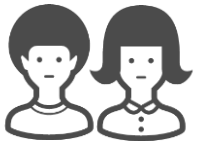
＜年代別の自由記述頻出語＞

頻出割合	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
高	子ども	子ども	子ども	子ども	
	やさしい	公園	公園	教育	
		子育て	子育て	公園	
		蒲田	学校	安心	
		安心	教育	場所	
		場所	安心	環境	
		学校	高齢者	自転車	
		悪い	充実	子育て	
		教育	地域	安全	
		自転車	自転車	学校	

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成
※出現数５つ以上で作成

3　アンケート自由記述欄（小中学生）

Q3　まちの将来像に関するご意見がございましたら、自由に記載をお願いします。



<3,416人の自由記述で作成したワードクラウド>



※ワードクラウド：
　自由意見における単語の頻出頻度を大きさで表したもの

<年代別の自由記述頻出語>

頻出割合	小５	小６	中１	中２	中３
高	公園	公園	公園	公園	公園
	自然	子ども	ゴミ	子ども	子ども
	やさしい	やさしい	子ども	自然	学校
	子ども	緑	ボール	ボール	きれい
	犯罪	ボール	自然	環境	安全
	楽しい	環境	きれい	治安	治安
	緑	自然	やさしい	安全	ボール
	高齢者	安全	場所	学校	蒲田
	きれい	場所	犯罪	やさしい	教育
	ボール	犯罪	緑	教育	環境

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成
※出現数５つ以上で作成

3　アンケート自由記述欄（まとめ方）

◆自由記述欄のまとめ方

①　アンケートの自由記述を以下の分野ごとに分類
（あてはまる分野全てに分類）

【分野一覧】
人口/子育て/教育/高齢者/福祉/健康・スポーツ/**防災**/**治安**/**交通**/**公園・緑地**/**住まい**/
地域力/国際都市・多文化共生/産業・経済/観光・文化/環境/**DX**/**自治体経営**/
まちづくり/**その他**
（まちづくり：駅周辺のまちづくり　等　　その他：羽田空港・人権・SDGs　等）

②　分野ごとに主な意見を抽出し、属性別（一般/保護者/小中学生）に記載

3　アンケート自由記述欄（概要）

防災



属性	主な意見
大人（一般）	・　多摩川が氾濫しないように洪水災害に強いまち。 ・　自然災害が起きた時に、安心してみんなが避難できる場所がもっとできてほしい。
大人 （保護者）	・　水害時に安全に過ごせる避難所を増やし、安心できるまちにしてほしい。 ・　電線の地中化を進めて、歩きやすく、景観がよく、災害に強いまちにしてほしい。
小中学生	・　海(東京湾)や一級河川(多摩川)に接している区として、津波や洪水に強いまちになってほしい。 ・　南海トラフ巨大地震が来ると言われているので、いつ来てもいいように耐震化を進めてほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

治安



属性	主な意見
大人（一般）	• ゴミ捨てなどのマナーが悪い。 • 歩きタバコ、蒲田駅前の喫煙所、あちこちで見かける路上喫煙をなくしてほしい。 • 防犯カメラを増やしてほしい。
大人 （保護者）	• 自転車に乗りながらの喫煙やポイ捨てなど、マナーがよくない。 • 喫煙場所を限定してほしい。 • 蒲田駅前付近のキャッチ、呼び込み等を排除してほしい。
小中学生	• ポイ捨てがないまち。 • タバコを捨てない街にしたい。 • 犯罪が少ない未来にしたい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

公園・緑地



属性	主な意見
大人（一般）	・公園内の遊具が古く、劣化しているものが多いので、充実させてほしい。 ・平日の昼の公園は喫煙している人が多く、子どもを遊ばせられないので改善してほしい。 ・緑をたくさん増やしてほしい。
大人 （保護者）	・子どもたちが公園でできないこと（ボール遊び、ラジコン、自転車の練習等）が多すぎる。 ・遊具が充実していてきれいな公園を増やしてほしい。 ・緑化を進めてほしい。
小中学生	・ボールを使える公園が未来にはあってほしい。 ・いろいろな遊びができる公園を増やしてほしい。 ・誰もが利用しやすい緑豊かな公園がほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

地域力



属性	主な意見
大人（一般）	• 地域住民が日常的に交流し、助け合えるまち。 • 子どもたちも参加できる年一回の大きなイベントを開催してほしい。
大人 （保護者）	• 子どもから高齢者まで一緒に楽しめるコミュニティがあれば、どちらにとっても良い影響があるのではないか。 • 年代間の交流が少なく、地域のことを考える人材が高齢すぎる。 • 区や地域全体で、子どもの安全安心が守れるまちにしてほしい。
小中学生	• 人と関わる機会を増やして街の人のことを知っていける街にしたい。 • 祭りを増やしてほしい。 • 活気があるまちであってほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

交通



属性	主な意見
大人（一般）	・　新空港線の開業を支援してほしい。 ・　蒲蒲線の必要性を感じない。 ・　大田区内公共交通機関は分断されており利便性が低いため、コミュニティバスを拡充してほしい。
大人 （保護者）	・　新空港線のなるべく早い開通に期待している。 ・　蒲蒲線の費用を他の優先課題に回してほしい。 ・　コミュニティバスの導入をしてほしい。
小中学生	・　蒲蒲線を作るのなら早く作ったほうが人の流れがより良くなると思うので、早く作ってほしい。 ・　道などがとても狭いのでみんなが通りやすく歩きやすいようにしてほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

住まい



属性	主な意見
大人（一般）	・　空き家の活用を促してほしい。 ・　子育てするには土地、家賃が高すぎる。子育てしやすい家が増えてほしい。
大人 （保護者）	・　空き家がうまく活用されるとよい。 ・　ファミリー向けのマンションが少ない。
小中学生	・　空き家を減らしてほしい。 ・　建物が古く、壊れているところが多い。もっと安全に生活をできるようにしてほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

DX



属性	主な意見
大人（一般）	・　行政関係の申請が全てデジタル申請に対応しているとよい。 ・　選挙をオンライン化してほしい。
大人 （保護者）	・　行政手続がオンライン申請できるようになってほしい。 ・　教育環境からデジタル化をしてほしい。 ・　キャッシュレス化が進んでいない。
小中学生	・　学校の宿題をタブレットにしてほしい。 ・　学校の教科書はすべて廃止され、パソコンが教科書の代わりになってほしい。 ・　デジタル化が進んでいる街がよい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

人口

属性	主な意見
大人（一般）	・　大田区から少子化問題を改善し、子育てしやすくなるまちにしてほしい。 ・　大田区の良いところをアピールして、イメージの良い街にし、区外からの転入者も増え、産業が発達し、活力ある街にできるとよいと思う。
大人 （保護者）	・　少子化対策として、子育て世帯を優遇し、子どもを産みたくなるまちづくりを目指してほしい。 ・　子供の数を増やさないことには、高齢化が進み、新たなイノベーションが生まれにくくなる。子どもに優しいまちは、高齢者や障がい者にも優しいまちである。
小中学生	・　少子高齢化の対策をちゃんととれるまち。 ・　住民が少し増え、祭りなどでもっと賑わうまち。

3　アンケート自由記述欄（概要）

自治体経営



属性	主な意見
大人（一般）	・　土日関係なく施設が空いているところが増えてほしい。 ・　区役所や出張所の土日開庁など、日中働いている人が使いやすい行政サービスがほしい。
大人 （保護者）	・　学校や公共施設が古い建物が多いため、建て直してほしい。 ・　大田区内均等に行政サービスを受けられるようにしてほしい。
小中学生	・　所得税、法人税など、収入にかけられる税を減らしてほしい。 ・　学校が全体的に古いので、きれいにしてほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

まちづくり

属性	主な意見
大人（一般）	・　蒲田駅東西連絡通路はぜひ作ってほしい。 ・　大田区は広いので、地域ごとの分析をしっかりして将来像を示してほしい。
大人 （保護者）	・　ターミナル駅（蒲田駅、大森駅等）を再開発してほしい。 ・　蒲田駅周辺はバリアフリーが充実していない箇所がある。
小中学生	・　蒲田駅が汚いためきれいにしてほしい。 ・　シャッターばかりの商店街が多く活気がなくなっているので再開発をしたほうがよい。 ・　若者が楽しめるお店をたくさん作ってほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

その他



属性	主な意見
大人（一般）	・羽田空港はあるが、大田区を素通りしていく感じがするので、より魅力的なコンテンツを発信する必要があるのではないか。 ・羽田空港から近い利便性の良さを感じる。 ・ひとや環境に優しいまち、助け合える思いやりのあるまちであってほしい。
大人（保護者）	・大変アクセスのよい羽田空港は大きなメリットなので、今後のまちの活性化につなげてほしい。 ・個々を大切にできるまちづくりをしてほしい。
小中学生	・大田区は羽田空港がある点をもっと大きくアピールし、世界と繋がっていけるようにしたらよい。 ・緑が多くSDGsに貢献しているまち。 ・みんなが笑顔でいられるまち、平等なまち、戦争がなく平和なまち。